

## 「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」に関する補足説明

### 1. 作成の文脈・背景

- 第 25 期発足後における日本学術会議をめぐる環境
- 日本学術会議（幹事会）による対応、会員等の反応
- 組織の設置形態に係る井上担当大臣（当時）からの検討要請

### 2. 議論の過程

- 幹事会コアメンバーによる討議、素案作成
- 会員への素案提示、意見交換
- 総会（3 年 4 月）

### 3. 執筆の方針

- 全体構成
- ボリューム

### 4. 改革の基本姿勢

- 現状の問題点の認識（提言の在り方、会員選考、広報、国際活動、事務局機能）
- 海外のアカデミーの動向についての理解
- 当事者としての立場・責任、実現を目指す時間軸

### 5. 海外との比較における注意点

- 機能
- 設置形態（法人格）